

ほご通信

第36号 (08年5月)
発行:本郷たかし後援会
女川町黄金町13番地の2
TEL / FAX 53-3509
<http://blog.goo.ne.jp/hongo-takashi/>
E-mail t.hongo@abeam.ocn.ne.jp

「金華山航路・請願審査特別委員会」の委員長として

本郷 隆

字数の都合でいきなり本題に入ります。今回は、町なかでも何かと話題になっている、金華山航路の問題について報告したいと思います。

平成20年度の予算を決める3月定例会中に、観光協会会長はじめ10団体の会長名で『女川〜金華山航路の再構築実現に関する請願書』が町長に提出されました。請願の趣旨をわかりやすくいいますと、「民間の方々が協力して航路運行会社を設立し(4月8日に『株潮プランニング』を立ち上げ済み)、女川〜金華山航路

を再開しようとしているのだが、その実現のためには船舶が不可欠であり、その取得費用を町に助成して欲しい」というものでした。

請願は追加議案として上程され、即座に議長を除く議員全員で構成する『請願審査特別委員会』が設置されました。そして、今定例会で『女川〜金華山航路を確保するために』といった一般質問を行ったからかどうかはわかりませんが、私が委員長に指名されたのです。

私としては、迅速な対応が必要と判断したので、さつそく本会議最終日の14日に委員会を開催し、請願者及び関係者の皆さんの出席を仰いで、請願に関する説明や意見を聞きました。

引き続き19日に開催した委員会において、40人ほどの傍聴人が見守る中、委員同士が活発な審議を行い、同日『本請願を採択すべきもの』と決し、当委員会を閉会しました。

その後3月24日に第3回臨時会が招集され、この請願は賛成多数(賛成10反対3 欠席2)で採択されました。その際に委員長として報告した意見書を以下に紹介します。

【本町の観光の柱である金華山航路は、唯一の航路業者が昨年12月末に倒産したことから、現在は休止状態である。そのため本町への観光客は大幅に減少し、関連企業にも大きな影響が既に出始めている。このような状況の中、金華山航路

を再構築すべく民間の方々が新たに航路運行会社を立ち上げることとなり、今回の請願提出に至った。

当委員会での請願審査にあたっては、『公益性』と『緊急性』が問題となった。

『公益性』については、『女川町の観光行政にとって金華山航路はなくてはならないもの』という大局的な概念が多数を占めた。

『緊急性』については、

夏場の観光シーズン及び10月〜12月にかけて行われる「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」や、9月に予定されている「離島航路しまなぎの船舶法定検査」のための代船確保の必要性から、十分に緊急性ありという結論を得た。

早期新会社の立ち上げ、そして当該船の取得及び金華山航路の再開、それに伴う観光客の増加等による経済波及効果ひいては町全体の経済の活性化等を勘案した場合に、本請願については妥当なものとす。

町当局においても迅速な対応を求めるものである。また、次の点について各委員から活発な提言があったので要望する。

1、町当局においては、貴重な税金を投入することから、町民の理解を得られるような財政支援を図りたい。

2、改修工事等については、極力縮減されるよう努力されたい。

3、金華山航路事業だけでなく他の観光事業を発掘するなどして更なる観光客の増加に努められたい。

4、新会社の今後の事業運営については、民間の英知を結集し、資本金を増額するなどして独立採算を堅持することを強く求める。】

この問題については、私も委員長という役割り上、賛成の立場・反対の立場から、さまざまな質問やら意見を頂戴していますが、さらに皆さんの声を聞かせていただければ幸いです。